



# 支援プログラム 1

作成日：令和7年12月15日

## チャイルドハート筑前東

### 所在地

福岡県朝倉郡筑前町久光252

### サービス内容

児童発達支援  
放課後等ディーサービス

### 運営法人

一般社団法人 JOYNTS

### スタッフ情報

児童発達支援管理責任者  
障がい者福祉経験スタッフ

作業療法士  
幼稚園教諭

理学療法士  
児童指導員

保育士  
認定心理士

### 料金システム

#### 料金システム

所得に応じて利用料金が決まります。

例) 世帯収入が890万円までの場合、自己負担の上限額は月額4,600円です。

### ご利用対象者

#### 児童発達支援：未就学児

#### 放課後等ディーサービス：就学児（小中高）

##### ①児童発達支援

月～金 10:30～14:00  
土 10:00～16:00

##### 放課後等ディーサービス：

通常日 15:00～18:00  
土（学校休業日） 10:00～16:00

※送迎あり

※障がい児通所支援事業を利用する場合は、市町村が発行する「障がい児通所受給者証」が必要です。お住いの地域の障害福祉課にお問い合わせください。

その他、おやつ代として日額50円、教材費として実費を頂いています。

### ご相談は…

☎ 0946-28-7520  
☎ 090-7575-7521  
Fax 0946-28-7521



# 支援プログラム 2

## ① 健康・生活

- ・基本的生活習慣の獲得
- ・生活リズムの確立
- ・季節に応じた衣服の調節
- ・整理整頓 清掃
- ・食育(野菜栽培・クッキング)
- ・昆虫飼育
- ・プライベートゾーンの理解
- ・呼吸法

## ② 感覚・運動

- ・**感覚統合遊び**  
運動遊び(体力向上、体幹)
- ・**ビジョントレーニング**  
(反射神経・空間認知・リトミック)
- ・野外活動  
(プール・川遊び・外遊び)

## ③認知・行動

- ・認知機能トレーニング(コグトレ学習)
- ・認知作業トレーニング(カード遊び)
- ・危険予知トレーニング(避難訓練)
- ・宿題、学習支援
- ・余暇活動(創造力・表現力・自主性)

## ④言語・コミュニケーション

- ・認知ソーシャルトレーニング  
(表現力・洞察力・感受性)
- ・アンガーマネジメント
- ・語彙力アップ(セルフエスティームの向上)
- ・SST(自己・他者理解)

## ⑤人間性・社会性

- ・リーダーシップ
- ・**子どもの意見表明**
- ・集団活動(ルールマナー・協調性・傾聴力)
- ・選択活動(判断力・探求心・好奇心)
- ・調べ学習、承認欲求の刺激

※子どもの心の声を聞き人間性や社会性を育みます。

## 5領域の分け方について

(例) 認知機能トレーニングは、③の認知・行動の領域に記載していますが、それ以外のすべての領域に効果をもたらします。このように、それぞれのプログラムの項目を5領を分けていますが、記載されている以外の領域に重複して効果をもたらすプログラム内容となっています。



# 支援プログラム 3

## 感覚統合遊びとは

私たちが生きていくうえで、「視覚」や「聴覚」など様々な感覚を使って生活しています。その感覚のアンバランスさがあると、何かしらの「つまずき」が現れます。特に土台となる「触覚」「平衡感覚（バランス感覚）」「固有感覚（筋肉や骨を動かす感覚）」が整わないと、学習能力や運動能力の達成は難しくなります。遊びを通して、様々な感覚にアプローチして、楽しみながら適切な刺激を与えることで、子どもたちの「つまずき」の改善を行うことができます。

## コグトレとは

コグトレは、精神科医の宮口幸治医師が開発された認知プログラムです。認知トレーニング（Cognitive Training）の略称で、身体面、学習面、社会面の3つのトレーニングで構成されています。

身体面（不器用さの改善：自分の身体、物と自分の身体、人の身体と自分の身体）

学習面（基礎学力の土台づくり：記憶、言語理解、注意、知覚、推論、判断）

社会面（対人スキルの向上：感情、対人マナー、危険予知、問題解決）

子どもの実態に合ったコグトレを行うことで認知能力が向上します。

結果、子どもの困り感の解消が期待できるトレーニングです。

## ビジョントレーニング

視覚機能を高めるトレーニングです。目で見た情報を正確に捉え、脳で適切に処理（イメージ力）、それをもとに身体を動かす能力を向上させることを目的としています。日常生活や学習、スポーツなどのパフォーマンス向上に役立ちます。トレーニングを行うことにより集中力や認知機能の改善が期待できます。

- 1.追従性：目で動く物体を追うトレーニング
- 2.視空間認知：物体の位置や形を正確に認識する
- 3.両目のチームワーク：両目を協調して使う
- 4.跳飛性：目を素早く動かして異なる点を捉える
- 5.ボディーイメージ：自分の体の構造を理解する
- 6.目と身体のチームワーク：目と身体の動きの連動
- 7.緊張の緩和：緊張をほぐし、左右の身体のバランスを整える

## SST(ソーシャルトレーニング)とは

家庭や学校などの生活に適応できるようになることだけでなく、将来社会生活を送れるようになった時を見越して、コミュニケーション能力を育てます。トレーニングで得たことを生活の中で使ってみる事が大切です。

## アンガーマネジメント

怒りの感情を適切にコントロールし、建設的に表現するための技術のことです。怒りを感じたときに、冷静に対処し、感情を爆発させずに問題解決に向けて行動することを目指します。



# 支援プログラム 4

## 法人理念

- ・私たちは全ての子どもは発達すると信じて支援します。
- ・私たちは「遊び」を通して発達の土台を強固にする支援をします。
- ・私たちは「学習」を通して、「働く人」に成長するための「進学」「就職」の支援をします。
- ・私たちは支える人たちとの「つながり」を大切にした支援をします。
- ・私たちは「笑顔」「共感」「傾聴」の姿勢で全ての利用者を支援します。
- ・私たちは「こども」第一の精神で支援します。

## 支援方針

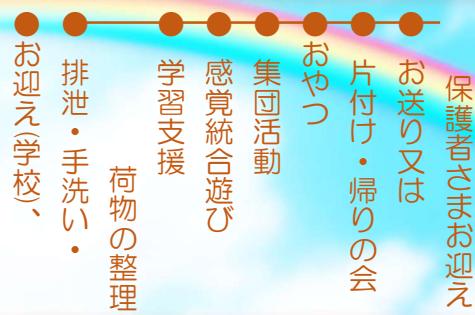
“できるを育む” 自分に合った環境で楽しく挑戦することで、自己決定や成功体験を積み、自尊心を育みます。

## 1日の流れ（例）

### 【未就学児】



### 【就学児】



## 家族支援

- ・保護者さまとの連携：コミュニケーションを大切にし、子どもの成長や問題解決に向けたサポートを行います。
- ・保護者会を開催し子育てのお悩みや支援方法の情報共有を行います。

## 移行支援

- ・通級から普通級への移行や進学、就職先のサポートを行います。
- ・インクルージョン推進の取り組みを行っています。

## 職員の質の向上の取り組み

- ・年間の研修計画に則った研修やワークショップを行い、技術や知識の向上を行っています。
- ・定期的な評価とフィードバックすることで、職員の強みを明確にし、自信を持った支援を行っています。
- ・様々な資格の取得を積極的に行ってています。

## 主な行事など

4月	進学、進級祝い	10月	ハロウィン制作
5月	子どもの日制作	11月	火災訓練
6月	防犯訓練	12月	クリスマス会
7.8月	プール、川遊び	1月	初詣
9月	防災訓練	2月	節分
		3月	卒業・卒園祝い

※年間行事計画より一部を記載しています。